

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 2月3日(金曜)午後3時現在

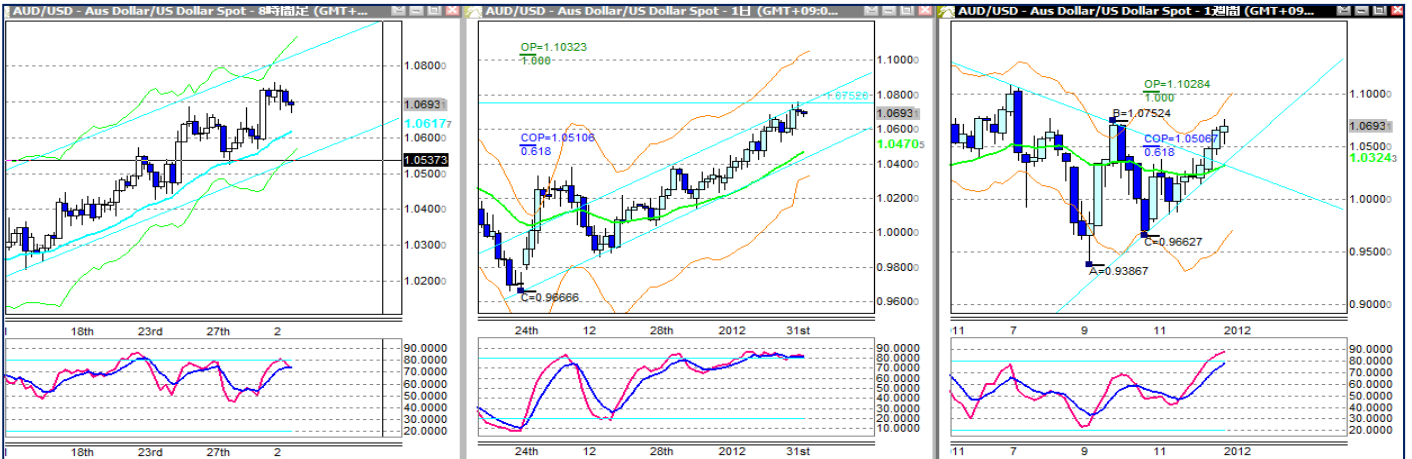
1. AUDUSD 来週の予想レンジ 1.0550~1.0750 中期予想レンジ 1.0450~1.1000

1. 豪中銀の利下げ観測に短期筋の利食い売りが入りやすくなっているが、安定した上昇トレンドで下値は限定的。
2. 懸案のギリシャ債務交換協議が合意した後の上昇局面では利食いの売りが入りやすい。
3. NZDUSD、USDCAD と共に、息の長い安定した上昇トレンドに入っている。

AUDUSD・8時間チャート

AUDUSD・Daily チャート

AUDUSD・Weekly チャート



| 期間                | 25<br>指数移動平均線 | DiNapoliオシレータ・<br>プレディクター |        | スロー・<br>ストキャスティック |       | トレンド | サポート 1. | サポート 2. | レジスタンス 1. | レジスタンス 2. |
|-------------------|---------------|---------------------------|--------|-------------------|-------|------|---------|---------|-----------|-----------|
|                   |               | DOPup                     | DOPdn  | %K                | %D    |      |         |         |           |           |
| AUDUSD・8時間チャート    | 1.0618        | 1.0866                    | 1.0555 | 74.62             | 74.48 | ↑    | 1.0618  | 1.0555  | 1.0829    | 1.0866    |
| AUDUSD・Dailyチャート  | 1.0471        | 1.1038                    | 1.0319 | 82.61             | 82.14 | ↑    | 1.0471  | 1.0319  | 1.0752    | 1.1038    |
| AUDUSD・Weeklyチャート | 1.0325        | 1.0915                    | 0.9617 | 88.57             | 78.11 | ↑    | 1.0325  | 0.9663  | 1.0752    | 1.1028    |

今週は、週初め1月30日の1.0526を底値に2日には1.0756 まで上昇、1.06割れを何度も試しながらも底堅く下げ止まり、1.0600~1.0700のレンジを上抜けしてから強い買いの流れが続いている。 経済指標では NAB 企業信頼感指数が強く、住宅建設許可件数や貿易収支は弱く、豪経済と関連性の強い中国経済では、HSBCのPMIは引き続き50に届かなかったが、製造業PMIは予想を上回り、貿易収支は黒字が拡大し、豪ドル買いの流れを強めていた。 中国財政相は中国経済の下振れリスクとインフレリスクを危惧したが売りへの反応は鈍く、逆にギラード豪首相が、豪ドル高が今後数年続く可能性を輸出企業に警鐘し、AUDUSDの上昇期待を残し、IMF局長は「オーストラリアは多くの他の国より、財政上柔軟性がある」と発言したことで、市場参加者の AUD 買い安心感が広まった。 また、欧州債券市場と株価の安定に、リスクオンの流れも加わり、本邦実需筋の買いも見られ、AUDJPYは80.50~82.00のレンジの上限付近で推移している。

今週は、本日2月3日の米雇用統計の結果と、2月6日のEU財務相会合を前にギリシャ債務交換協議の合意の有無と、その内容によって大きく相場見通しも変わってくる。 7日に豪中銀(RBA)の金融政策の発表があり、4.25%の政策金利を0.25%引き下げる予想が多い。 市場では今後も利下げが続き、最終的には3%近くになるとの見通しがあるが、仮に引き下げが実施されたとしても、他の主要国とは大きな金利格差が残り、トリプルAの格付け維持に、AUD高のセンチメントは強い。 また、安全資産としての評価も高く、米国・ドイツと同じく、安全資産の部類にオーストラリア国債も含まれている。 リスクとしては、中国の経済成長が弱まり、対中輸出が減少する可能性と、ギリシャ債務交換協議が失敗し、欧州債務危機がより深刻化し、中国やオーストラリア経済に打撃を与えることだが、その可能性は今のところ少ない。

テクニカル

8時間チャートは、EMA1.0618で、この線を下限に上昇トレンドが続いている。 ストキャスティクスは売りへ変化し、目先は調整の売りに変化する可能性もある。 下値のポイントは1.0618、1.0555、上値のポイントは1.0829、1.0866。

Dailyチャートは、EMA1.0471で、この線を下限に上昇トレンドが続いている。ストキャスティクスは強い上昇トレンドに売りへの変化はみられず、ハイペースで推移している。 下値のポイントは1.0471、1.0319、上値のポイントは1.0752、1.1038。

Weeklyチャートは、EMA1.0325で、この水準を超えて上昇トレンドが続いている。 ストキャスティクスは買いを継続、持合から上抜けし強い上昇の流れに入っている。下値のポイントは1.0325、0.9663、上値のポイントは1.0752、1.1028。

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 2月3日(金曜)午後3時現在

2. USDCAD 来週の見通しレンジ 0.9930~1.0050 中期予想レンジ 0.9800~1.0050

1. USDCAD パリティーを割り込んだが、以外に達成感はない。
2. NZDUSD、AUDUSD と共に上昇トレンドを続け、急騰もなく息の長い動きに入っている。
3. 引き続き、ユーロ圏債券相場には注意。

USDCAD・8時間チャート



USDCAD・Daily チャート



USDCAD・Weekly チャート



| 期間                | 25<br>指数移動平均線 | DiNapoliオシレーター・<br>プレディクター |        | スロー・<br>ストキャスティック |       | トレンド | サポート 1. | サポート 2. | レジスタンス 1. | レジスタンス 2. |
|-------------------|---------------|----------------------------|--------|-------------------|-------|------|---------|---------|-----------|-----------|
|                   |               | DOPup                      | DOPdn  | %K                | %D    |      |         |         |           |           |
| USDCAD・8時間チャート    | 1.0028        | 1.0104                     | 0.9892 | 27.16             | 28.52 | ↓    | 0.9915  | 0.9892  | 1.0028    | 1.0045    |
| USDCAD・Dailyチャート  | 1.0096        | 1.0256                     | 0.9797 | 16.88             | 18.67 | ↓    | 0.9929  | 0.9770  | 1.0051    | 1.0096    |
| USDCAD・Weeklyチャート | 1.0101        | 1.0627                     | 0.9838 | 19.92             | 32.54 | ↓    | 0.9838  | 0.9757  | 1.0522    | 1.0627    |

今週は、週初め1月30日の1.0069を高値に、2月1日には0.9963まで下落、終値ベースでも1.00のパリティーを割り込んで終了、特に前週に1.01を割り込んでからは強い売りの流れが続いている。経済指標では1月31日の11月GDPは-0.1%と予想を大幅に下回り、鉱工業製品価格はマイナスとなり、USDCADは一時上昇したが上値は1.0053が限度で、買いの流れは非常に弱く、逆に緩やかなドル売りの流れとなった。米国への輸出減少によりGDPの悪化に結びついてきたが、最近の米経済は比較的好調で、今後の成長回復が期待されていた。また、ギリシャ債務交換協議の決着が遅れに、安全資産としてのカナダ買いに結び付き、EURCADが1.32台から再び緩やかに値を下げ、結果としてUSDCADの上値を重くした。

来週は、本日2月3日の米雇用統計の結果と、2月6日のEU財務相会合を前にギリシャ債務交換協議の合意の有無と、その内容によって大きく相場見通しも変わってくる。カナダの経済指標では7日にIvey購買部協会指数と住宅建設許可、8日の住宅着工件数、9日の新築住宅価格指数の住宅関連と、10日には貿易収支の発表が控えている。ユーロ圏債務問題は12月20日のECB3年物リファイナンス・オペの実施で、ここ最近では債券市場や株式指標が安定を取り戻しており、商品市況の上昇も、原油価格と関連性の高いカナダドルに取ってはプラス材料として引き続き残っている。USDCADは1.0のパリティーを割り込んだが、ドル売りの達成感意外に少なく、1.0割れの相場は時間の経過とともに目が慣れ、さらなる下値トライに向かう可能性もでてくる。リスクとしては米経済の悪化で、カナダの米国への輸出依存度は高く約75%は米国向けで、米国の景気に敏感に反応するが、最近の米経済指標からは、景気回復の期待感が強まっている。

テクニカル

8時間チャートは、EMA1.0028で、この線を上限に下降トレンドが続いている。ストキャスティクスは買いへ変化する兆しも出ており、ローベースで推移している。下値ポイントは0.9915、0.9892、上値のポイントは1.0028、1.0045。

Dailyチャートは、EMA1.0096で、この線を上限に下降トレンドが続いている。ストキャスティクスは強い下降トレンドのためにシグナルがはっきりとせず、ローベースで推移している。下値のポイントは0.9929、0.9770、上値のポイントは1.0051、1.0096。

Weeklyチャートは、EMA1.0101で、この線を割り込んでから売りの流れが続いている。ストキャスティクスは売りを継続。下値のポイントは0.9838、0.9757、上値のポイントは1.0522、1.0627。

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 2月3日(金曜)午後3時現在

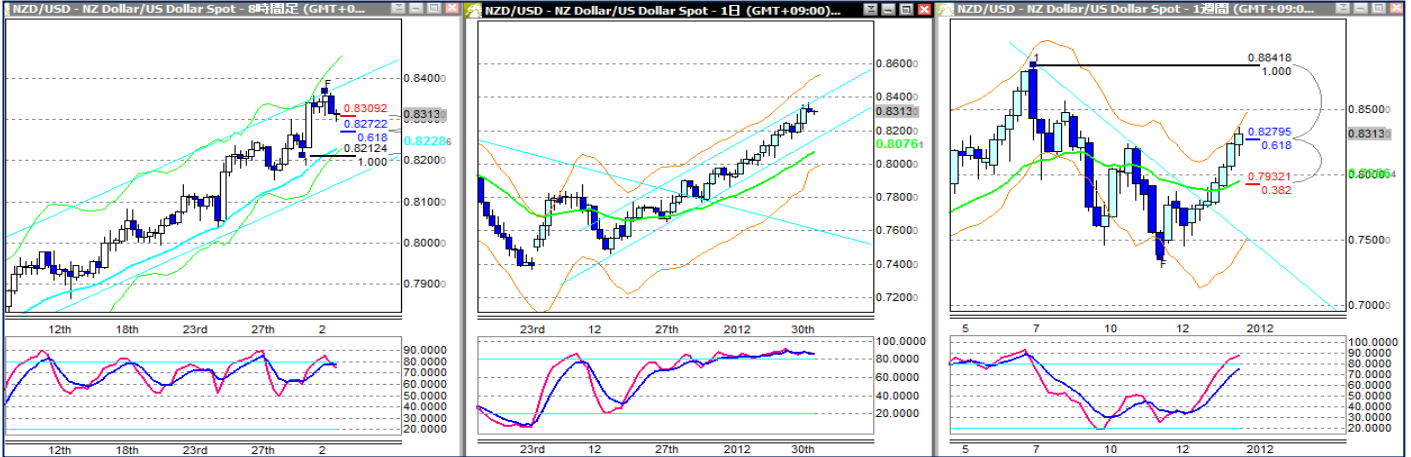
3. NZDUSD 来週の予想レンジ 0.8200~0.8450 中期予想レンジ 0.8100~0.8800

1. 欧州から投資資金が比較的規模の少ないNZに入り、相場を押し上げている。
2. ユーロ圏の債券相場の安定が続けば、上昇トレンドは変わりそうにない。
3. AUDUSD、USDCAD と共に息の長い安定した上昇トレンドに入っている。

NZDUSD・8時間チャート

NZDUSD・Daily チャート

NZDUSD・Weekly チャート



| 期間                | 25<br>指数移動平均線 | DiNapoliオシレータ・<br>プレディクター |        | スロー・<br>ストキャスティック |       | トレンド | サポート 1. | サポート 2. | レジスタンス 1. | レジスタンス 2. |
|-------------------|---------------|---------------------------|--------|-------------------|-------|------|---------|---------|-----------|-----------|
|                   |               | DOPup                     | DOPdn  | %K                | %D    |      |         |         |           |           |
| NZDUSD・8時間チャート    | 0.8229        | 0.8440                    | 0.8217 | 74.42             | 77.10 | ↓    | 0.8272  | 0.8229  | 0.8385    | 0.8440    |
| NZDUSD・Dailyチャート  | 0.8076        | 0.8521                    | 0.7977 | 85.40             | 86.57 | ↑    | 0.8157  | 0.8076  | 0.8397    | 0.8521    |
| NZDUSD・Weeklyチャート | 0.7957        | 0.8384                    | 0.7421 | 88.23             | 75.63 | ↑    | 0.7932  | 0.7421  | 0.8384    | 0.8842    |

今週は、週初め1月30日の0.8154を底値に2月2日には0.8369まで大幅な上昇となった。経済指標では前週27日金曜日の貿易収支は5カ月ぶりの黒字となりNZD買いの流れが強まり、31日の住宅建設許可が前回-6.4%から2.1%に上昇しNZD買いの流れを強めた。キーNZ首相はWSJ紙で投資家は欧州債務危機の影響を受けていない資産を求め、中国を含めNZ債券には海外投資家の関心を集めていると発言、ボラードNZ中銀総裁は、市場が今後1年間、利上げ・利下げも予想していないことに満足と発言、利下げ見通しが払拭されNZD買いの材料となった。EURNZDは1月18日の安値1.5875を割り込み2月2日には1.5720の安値をつけ、NZDは先週で10月28日の高値を超え、今週は9月9日の高値0.8370を試す勢いとなった。また、欧州債券市場が安定してきたことで、リスク許容度がたまり、NZDの買い要因の一つとなっている。

来週は、本日2月3日の米雇用統計の結果と、2月6日のEU財務相会合を前にギリシャ債務交換協議の合意と、その内容によって大きく相場見通しも変わってくる。NZの経済指標では、9日に第4四半期の失業率の発表があり、市場予想では6.5%(前回6.6%)と低下が予想されている。ギリシャ債務交換協議の合意が遅れていることでEURNZDが安値を更新し、AUDNZDも下落基調にあり、NZDUSDは上昇トレンドを修正させる材料は今のところ見当たらない。リスク要因としては市場規模が比較的小さく、欧州の債券市場が再び崩れるなどNZD売り材料が提示されれば、予想外に変動する可能性もある。

テクニカル

8時間チャートは、EMA0.8229で、この線を下限に上昇トレンドが続いている。ストキャスティクスは売りへ変化し、短期的な売りの流れへ変化する可能性が出ている。下値のポイントは0.9212、0.8829、上値のポイントは0.8385、0.8440。

Dailyチャートは、EMA0.8076で、この線を下限に上昇トレンドが続いている。ストキャスティクスは強い上昇トレンドのためにシグナルがはっきりせず、ハイペースで推移している。下値のポイントは0.8157、0.8076、上値のポイントは0.8397、0.8521。

Weeklyチャートは、EMA0.7957で、この線を上抜けて上昇トレンドが続いている。ストキャスティクスは買いを継続。下値のポイントは0.7932、0.7421、上値のポイントは0.8384、0.8842。

USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、  
CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス。為替レート・金・原油価格は GFT 社の取引レート。  
本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com、ロイター社、ブルームバーグ社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com、ブルームバーグ社

外国為替保証金取引 (FX) 及び CFD には、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたしますが、損失ももたします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。[www.gftforex.co.jp](http://www.gftforex.co.jp)

© 2011 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011